

● 人が輝く いきいき すみだ ●

いきいき

～すみだのきょういく～

ふれあい活力ゆとり

すみだ

墨田区教育委員会

墨田区吾妻橋一丁目23番20号

☎ 電話03-5608-6301

第130号 平成26年7月号

<http://www.city.sumida.lg.jp>

2面以降の主な内容

2面・・・あわの自然学園の紹介等

3面・・・文化財の紹介等

4面・・・教育委員会活動報告等

スマートフォンの急速な普及や SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などのソーシャルメディアの進展により、インターネットは私たちの暮らしに欠かせないものとなっています。しかしながら、長時間にわたるインターネットの利用は生活リズムを乱し、心身に様々な影響を及ぼすと言われています。いま、子どもたちの間でも「ネット依存」が問題となっています。

今後、ますます深刻化する恐れのある青少年のネット依存を予防するため、携帯電話やスマートフォン、インターネットなどを適切に使うためのルールやマナーについて、家庭や地域で今一度考えてみましょう。

深刻化する

ネット依存

生活に支障が起こるかも！？



学力に悪影響が！？



参考

小中学生向け
リーフレット

「ちょっと待って！
ケータイ&スマホ」
リーフレット
(2014 年版)

(文部科学省作成)

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taisaku/1345365.htm

参考ルール

その一、自宅で使う時はリビングだけ
その二、食事中はケータイを見ない
その三、午後□時以降は使わない
その四、フィルタリングのサービスを受ける

その五、寝る時は、電源を切る など

子どもたちの健康や日常生活に悪影響が生じないように、パソコン、スマートフォン等の利用に関して、各家庭でも「ルール」作りをしていきましょう。

ネット依存には
させないぞ

規則正しい生活を！

正しく使って

パソコン・スマートフォン



わくわく いっぱい

あわの自然学園

夏休みがやってきます！都会を脱出して、自然を満喫しませんか！！星空観察、川遊びなどなど、自然がいっぱいのあわの自然学園を紹介します。

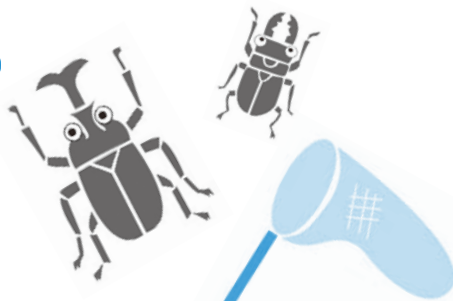


あわの自然学園



楽しい
川遊び～

むしとりもできる



木の実の
クラフト

<体験できるメニュー>

竹細工（コップ・箸作り）、
バームクーヘン作り、キャ
ンプファイヤー、肝試し！
など



とったマス
を塩焼きに～

あわの自然学園

【所在地】栃木県鹿沼市上粕尾1041番地

【利用期間】7月19日（土）から8月31日（日）
までの3泊4日以内

【利用対象】区内在住在勤の方を含む3人以上の団体

【利用料1泊】大人600円、3歳～中学生150円、
2歳以下無料 ※別途食事代が必要

交通案内

《自動車利用》

栃木 I.C. から栃木粕尾線（約 60 分）

《電車利用》

東武線新鹿沼駅下車⇒バス「墨田学園前」（約 80 分）

【問合せ】学務課給食保健・就学相談担当

☎5608-6305

すみだの学校給食



～夏のスタミナメニュー～

メキシカン・ピラフ

暑い夏、夏ばてしないためには1日3食の食事は大切です！！

そうは言っても、暑いと食欲がない時もありますよね。

そんな時に、お子さんと一緒にこのレシピを作ってみませんか！



— 材 料（5 人分） —

- お米・・・2 カップ
- とりがらスープ・・・2 カップ
（市販のスープのもと使用）
- 赤・緑・黄色ピーマン…各1 個
（5 ミリくらいの角切りでさっと
ゆでておく）

- A
- 白ワイン・・・大さじ1/2
 - カレー粉・・・小さじ1/2
 - バター・・・大さじ1/2
（溶かしておく）

B

- 油・・・小さじ1/2
- ベーコン・・・1 枚
- 鶏肉・・・1/2 枚（小さめのこま切り）
- たまねぎ・・・中玉1/2 みじん切り
- ホールコーン・・・冷凍でも缶詰でも
結構です
- マッシュルーム・・・大さじ1（せん切り）
- 塩・・・小さじ1/2 強

C

- こしょう・・・少々
- トマトケチャップ・・・大さじ1
- カレー粉・・・少々

— 作 り 方 —

- ① 油でBの具を炒め、Cの調味料で味付けします。この時に出的炒め汁は別に取っておきます。
- ② お米、スープ2 カップ（炒め汁と合わせた量）とAの調味料を入れて炊き上げます。
- ③ ごはんが炊けたら、①の具とゆでたピーマンをごはんと混ぜます。

【問合せ】学務課給食保健・就学相談担当 ☎5608-6305

文化財マップ 全面リニューアル

六年ぶりに新しくなった文化財マップはお寺や神社、説明板の解説はもちろん、散策にとても便利な情報が盛りだくさん！ちよつと暑いけどマップを手に出かけてみませんか？

7 銅造榎本武揚像(増設 2-6-10)



榎本武揚(1836-1908)は旧幕臣。函館戦争の中心人物として有名。晩年向島に居住したため、馬に乗って散歩する姿も見られたという。当地に建つ銅像は大正2年(1913)5月に造立されたもの。江原素六ら建設委員会を中心に、大隈重信や大倉喜八郎、渋沢栄一など政財界関係者の協力のもと造立された。



こういう内容がたくさんのってるんだね！



本所の案内役
りゅうくん

文化財の場所も見やすくなったし、トイレやコンビニも探せて安心だね。

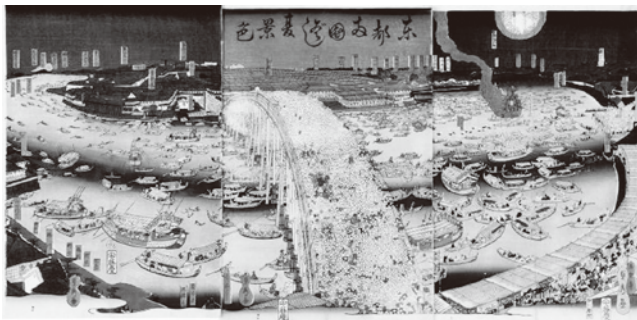
新しい文化財マップは区役所一階で好評発売中！
(二部二〇〇円)
お散歩するときマップも一緒につれてってね。



向島の案内役
かぎゅうちゃん

【問合せ】生涯学習課文化財担当
☎5608-6310

江戸の花火



【内容】江戸時代の初期から、江戸市中と隅田川とその河口周辺では、花火が行われていました。今回の特集展示では、隅田川・江戸市中・相図(合図)といった切り口で、江戸の花火の歴史に迫ります。

【とき】平成26年5月24日(土)～8月3日(日)

【ところ】すみだ郷土文化資料館

【入館料】個人100円、団体(20人以上)80円*中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料

【問合せ】すみだ郷土文化資料館 ☎5619-7034

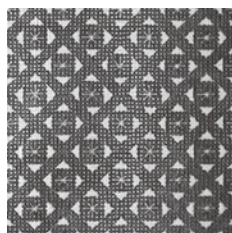
すみだのたからものプロフィール

その2 あいぞめ ながいたちゅうがた 藍染(長板中形)

花火大会やお祭りなどで浴衣を目にする時期になりましたが、藍一色で染められた浴衣は、江戸時代から多くの人々に着られてきました。京島で藍染業を営む藤澤幸宏さん(墨田区登録無形文化財技術認定保持者)は、長さ6m余りの長い木の板に布生地を貼り、両面に型紙を使い糊で模様や柄をつけ、天然の藍で染めて仕上げます。このような染め方を長板中形といい、現在はほとんど見られなくなりましたが、藤澤さんは祖父・父から受け継いだ技術を大切に伝えています。



藤澤さんが染めた浴衣生地



型紙の模様



型紙を使い、糊で布に模様を付けていく

Board of Education

教育委員会だより

教育委員会では、教育行政全般の決定や質疑等を行っています。委員たちは、この会議に出席するほか、学校等に足を運び「すみだの教育」の今を考えています。

●開催状況（4月～6月）

定例会（連絡協議会含む） 6 回
臨時会 2 回

議決事項 23 件
報告事項 23 件

= 傍聴に来ませんか =

教育委員会定例会は、どなたでも傍聴できます。興味のある方は、お気軽に担当までお問合せください。

【問合せ】庶務課 ☎5608-6301

教育委員 活動報告



6月21日（土）吾嬬立花中学校の開校式典に出席しました。

4月 教育施策連絡協議会

校長会

5月 運動会

都民体育大会結団式

第三者評価委員会

6月 PTA連合定期総会

青少年育成委員会

この他にも公開授業等いろいろな行事に出席して、現場感覚を大切に活動しています。

児童文学に見る 学校と教育



墨田区教育委員会
委員 坂根 慶子

皆様こんにちは。教育委員の坂根慶子と申します。公開授業などで教室や図書室で読書している子供たちを見ると、私が子供の頃に親しんだ児童文学の名作が思い出されます。今回は、それらの作品に見る学校と教育について話しようと思います。

名作には学校生活や教育が主題となっているものが少なくありません。『二十四の瞳』『飛ぶ教室』などはその代表でしょう。時代や場所は違っても自分たちと同じ子供が主人公の物語を子供たちは共感を持ちながら夢中になって読みます。そして子供時代を過ぎると自然と児童文学を読まなくなります。けれども大人になり親となり、また教育に携わる立場になって読み返すと別の側面が見えてくることがあります。その一つの例をローラ・インガルス・ワイルダー作『大きな森の小さな家』（全七巻）で見てみましょう。これは第二巻がアメリカでテレビドラマに制作され「大

草原の小さな家」として日本でも放映されたのでご存知の方も多いかと存じます。簡単に内容をご紹介しますと、この物語は作者のローラ一家がウィスコンシン州の大きな森を出て、ダコタ州の小さな町に落ち着くまでの開拓農民家族の物語です。時代は日本の明治初め頃にあたります。

さらに物語の一場面を紹介すると、幌馬車生活で母親はローラと姉のメアリーに食事作法を教え、野の花をコップに挿して楽しみます。町に落ち着いて学校へ行くようになると勉強だけでなく分担して家事をさせます。失明した姉を盲人の大学に行かせるためローラが教師となり現金収入を得るところ。そして教師としてのローラの失敗や成長など教育の原点に触れるような場面があふれています。

そしてこの物語には「教育委員会」が出てくるのです。ローラの学級が同級生の告げ口と先生の誤解で崩壊寸前になった時、ローラの父親もその一人である教育委員会が学校を訪問し問題が解決されます。新しい学校を作る時は、地域の教育委員会が計画し、校舎を建てペンキを塗り、教師を選びます。

この物語を読み返し、私はすみだの教育と似ていることに気づきました。それは自分たちの地域の子供たちの成長、安全を自分たちで考え、作っていくすみだの皆様の姿勢です。私が教育委員に就任して八か月余り、地域の素晴らしい皆様に感謝を込めてこの物語をご紹介します。

ボランティア団体「ブックトークの会」が、 文部科学大臣表彰 を受けました

4月23日の「子ども読書の日」に、文部科学省等の主催による「平成26年度子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、墨田区で活躍中のボランティア団体「ブックトークの会」が文部科学大臣表彰を受けました。

このフォーラムは、子どもの読書活動への関心・理解を深めるとともに、子どもの読書意欲を高める優れた活動を行う団体等を顕彰するため、毎年、開催しているものです。今年度は、優秀実践校141校、優秀実践図書館43館、優秀実践団体51団体及び優秀実践個人4名が受賞しました。

優秀実践団体として表彰された「ブックトークの会」は、テーマに沿って選んだ複数の本を、お話などでつなぎながら紹介する活動「ブックトーク」を、墨田区立図書館と協力し、区内の小

学校などで実施しています。平成18年度に図書館主催のブックトーク講座を修了した方が創設した会で、ブックトークの質・内容を充実させるため、常に児童書を研究するとともに、毎月実施している例会でブックトークを実演し、改良点や意見を出し合っています。

本の魅力を伝えることで子どもの読みたい気持ちを育み、読書の世界を広げる「ブックトークの会」の今後の活動に、ぜひ、ご期待ください。

